

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 国語 科目 現代の国語

教科：国語

科目：現代の国語

単位数：3 単位

対象学年組：第1学年 組～ 組

教科担当者：

使用教科書：（編 現代の国語（第一学習社）書きたくなるアシスト常用漢字（数研出版）・プレミアムカラー国語便覧（数研出版）

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】職業人としてに必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】論理的に考える力や深く共感し豊かに想像する力を伸ばし、伝え合う力を高め、考えを広げ深めることができるように

【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、我が国の言語文化の担い手として言葉を通して他者や社会に関わろうとする

科目 現代の国語

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
中学校の範囲を学びなおし、職業人として必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配当 時数
			話	聞	書	読					
1 学 期	A 随筆『十六歳のとき』 【知識及び技能】 本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解しようとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 人生の岐路となった筆者の旅を追体験することにより、世界にはさまざまな出会いがあることを理解しようとする。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に比喩表現について理解しようとする。	・「現代の国語」を使用。 ・人生の岐路となった筆者の旅を追体験することにより、世界にはさまざまな出会いがあることを知る。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・比喩表現を知る。	○	○	○	○	【知識及び技能】 本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 人生の岐路となった筆者の旅を追体験することにより、世界にはさまざまな出会いがあることを理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に比喩表現について理解している。	○	○	○	15
	B 評論『言語としてのピクトグラム』 【知識及び技能】 本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解しようとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ピクトグラムが持つ「言語」としての機能を理解し、言語表現の多様性について考えを深めようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 学習課題に沿ってピクトグラムの問題点や修正案を考え、積極的に発表しようとしている。	・「現代の国語」「プレミアムカラー国語便覧」を使用。 ・ピクトグラムが持つ「言語」としての機能を理解し、言語表現の多様性について考えを深める。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ・自分の考えや事柄を的確に伝えるように、根拠の示し方や説明のしかたを工夫する。 ・日本のピクトグラム揭示の特徴について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・言葉には、認識や思考を支えるはたらきがあることを理解する。 ・学習課題に沿ってピクトグラムの問題点や修正案を考え、積極的に発表しようとしている。	○	○	○	○	【知識及び技能】 本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ピクトグラムが持つ「言語」としての機能を理解し、言語表現の多様性について考えを深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 学習課題に沿ってピクトグラムの問題点や修正案を考え、積極的に発表している。	○	○	○	15
	C 「漢字の読み書き」 【知識及び技能】 常用漢字の読み書きに慣れ、読み書きができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自ら進んで漢字の読み書きを学習し、能力を身につけようとする。	・「書きたくなるアシスト常用漢字」を使用。 ・部首や熟語の構成を理解する。 ・小テストの実施。	○				【知識及び技能】 常用漢字の読み書きに慣れ、読み書きができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自ら進んで漢字の読み書きを学習し、能力を身につけている。	○	○		5
	確認テスト							○	○	○	1
	D 随想『人はなぜ仕事をするのか』 【知識及び技能】 本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解しようとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 本文で使われている「パス」という言葉の意味を考え、筆者が述べる仕事の本質について考察しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に話し言葉と書き言葉の特徴を理解し、話し言葉を挿入した効果について説明しようとしている。	・「現代の国語」「プレミアムカラー国語便覧」を使用。 ・本文で使われている「パス」という言葉の意味を考え、筆者が述べる仕事の本質について考察する。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ・自分の考えや事柄を的確に伝えるように、根拠の示し方や説明のしかたを工夫する。 ・話し言葉と書き言葉の特徴を理解する。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。	○	○	○	【知識及び技能】 本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 本文で使われている「パス」という言葉の意味を考え、筆者が述べる仕事の本質について考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に話し言葉と書き言葉の特徴を理解し、話し言葉を挿入した効果について説明している。	○	○	○	13	

2 学 期	E 評論『「弱いロボット」の誕生』 【知識及び技能】 本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解しようとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 「弱いロボット」の開発意図を理解し、人との間に生まれた関係性について考えを深めようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 本文を読んでロボットと人間との関係性について考えを深め、表現を工夫して自分の考えを書こうとしている。	・「現代の国語」「プレミアムカラー国語便覧」を使用。 ・「弱いロボット」の開発意図を理解し、人との間に生まれた関係性について考えを深める。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ・筆者が開発した「弱いロボット」について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。	○	○	○	【知識及び技能】 本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 「弱いロボット」の開発意図を理解し、人との間に生まれた関係性について考えを深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 本文を読んでロボットと人間との関係性について考えを深め、表現を工夫して自分の考えを書くことができる。	○	○	○	13	
	F「漢字の読み書き」 【知識及び技能】 常用漢字の読み書きに慣れ、読み書きができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自ら進んで漢字の読み書きを学習し、能力を身につけようとする。	・「書きたくなるアシスト常用漢字」を使用。 ・部首や熟語の構成を理解する。 ・小テストの実施。			○		【知識及び技能】 常用漢字の読み書きに慣れ、読み書きができています。 【学びに向かう力、人間性等】 自ら進んで漢字の読み書きを学習し、能力を身につけている。	○	○	○	12
	確認テスト						○	○	○	1	
3 学 期	G 随想『ナマケモノになる』 【知識及び技能】 本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解しようとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 筆者がナマケモノから学んだことを理解し、「ナマケモノになる」ことの意味について考えを深めようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 比喩について積極的に理解を深め、本文中の比喩の効果を説明しようとしている。	・「現代の国語」「プレミアムカラー国語便覧」を使用。 ・筆者がナマケモノから学んだことを理解し、「ナマケモノになる」ことの意味について考えを深める。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ・ナマケモノの生態から考える競争社会での生き方について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。	○	○	○	【知識及び技能】 本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 筆者がナマケモノから学んだことを理解し、「ナマケモノになる」ことの意味について考えを深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 比喩について積極的に理解を深め、本文中の比喩の効果を説明している。	○	○	○	29	
	確認テスト						○	○	○	1	
合計										105	

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 地理歴史 科目 地理総合

教科：地理歴史 科目：地理総合 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～5組

教科担当者：

使用教科書：（山川出版社「わたしたちの地理総合 改訂版」）

教科 地理歴史

の目標：

- 【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 地理総合

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地球や地表的課題への取組などを理解するとともに、地図や衛星画像などを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身に付けるようにする。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互関係、空間的相互作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするものの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>地球上の世界と地図の活用</p> <p>【知識及び技能】 地球を球面として捉え、球面上の位置・方位・距離について正しく認識し、季節・気候を生み出すことを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 球体である地球上での位置・方位・距離を正しく読み取ることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 球体としての地球を把握し、さまざまな図法による世界地図の理解に向けて、作業などに意欲的に取り組む。</p>	<p>・指導事項 時差と生活、世界地図でとらえる地球（図法）、日本の位置と領域 ・教材 授業プリント、NHK高校講座 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 地球と異なる位置・方位・距離について正しく認識し、季節・気候を生み出すことを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 球体である地球上での位置・方位・距離を正しく読み取れている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 球体としての地球を把握し、さまざまな図法による世界地図の理解に向けて、作業などに意欲的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	5
<p>・国家間の結びつき</p> <p>【知識及び技能】 統計数値を用いて適切な主題図を作成する。世界の地域経済圏や国際連合に関する知識を身につけ、地球規模の地域的な結びつきについて理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 複数の主題図を比較し、主題によって、表現方法が異なることを説明することができる。交通や通信の発達による変化について分析し、国家間・地域間の格差について考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 国内や国家間のつながりに影響する事象について、自ら視点を設定して、多面的に考察する。</p>	<p>・指導事項 貿易・交通・通信・観光による国家間の繋がり ・教材 授業プリント、NHK高校講座 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 統計数値を用いて適切な主題図を作成することができる。世界の地域経済圏や国際連合に関する知識を身につけ、地球規模の地域的な結びつきについて理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 複数の主題図を比較し、主題によって、表現方法が異なることを説明することができる。交通や通信の発達による変化について分析し、国家間・地域間の格差について考察している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 国内や国家間のつながりに影響する事象について、自ら視点を設定して、多面的に考察しようとしている。</p>	○	○	○	5
<p>単元テスト①</p>			○	○		1
<p>自然環境と生活文化</p> <p>【知識及び技能】 地形や気候のなりたちに関する知識を身につけ、それぞれの地理的事象について世界的な視野から読み取る。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 地形や気候のなりたちについて、プレートテクトニクスや大気循環、海洋分布などと関連づけながら、その成因と分布の特徴を世界的視野から考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 世界の地形・気候のなりたちと生活文化・産業とのかかわりについて、興味・関心をもって授業に臨む。</p>	<p>・指導事項 地球上の地形の成り立ち、山地と平野の生活、海岸部の生活、5つの気候帯 ・教材 授業プリント、NHK高校講座 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 地形や気候のなりたちに関する知識を身につけ、それぞれの地理的事象について世界的な視野から読み取ることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 地形や気候のなりたちについて、プレートテクトニクスや大気循環、海洋分布などと関連づけながら、その成因と分布の特徴を世界的視野から考察できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 世界の地形・気候のなりたちと生活文化・産業とのかかわりについて、興味・関心をもって授業に臨んでいる。</p>	○	○	○	8
<p>多文化共生社会と生活文化</p> <p>【知識及び技能】 世界の言語・宗教の特徴を理解し、生活文化との関係を読み取る。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 世界の言語・宗教の空間的な分布とその要因を考察し、自然環境や歴史的背景と関連させて考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 世界の言語・宗教の多様性と生活文化の関わりについて、興味・関心をもって積極的に調べる。</p>	<p>・指導事項 世界の宗教、仏教圏・キリスト教圏・イスラム圏の生活文化、世界の言語、多文化共生の実現に向けて ・教材 授業プリント、NHK高校講座 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 世界の言語・宗教の特徴を理解し、生活文化との関係を読み取ることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 世界の言語・宗教の空間的な分布とその要因を考察し、自然環境や歴史的背景と関連させて考察している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 世界の言語・宗教の多様性と生活文化の関わりについて、興味・関心をもって積極的に調べようとしている。</p>	○	○	○	7
<p>確認テスト①</p>			○	○		1
<p>産業の発展と生活文化</p> <p>【知識及び技能】 世界の産業の特徴を捉え、分布や変化を概観する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 世界の産業の特徴を地域ごとに比較し、自然環境や生活文化との関連性を考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 身近な商品がグローバル化の進む産業構造の中に位置づけられることを捉え、産業と自分との関わりについて意欲的に探究する。</p>	<p>・指導事項 農業の地域性、工業の発展 ・教材 授業プリント、NHK高校講座 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識及び技能】 世界の産業の特徴を捉え、分布や変化を概観することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 世界の産業の特徴を地域ごとに比較し、自然環境や生活文化との関連性を考察している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 身近な商品がグローバル化の進む産業構造の中に位置づけられることを捉え、産業と自分との関わりについて意欲的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	7
<p>グローバル化の進展と生活文化</p> <p>【知識及び技能】 地域統合やグローバル化による成長と課題、生活文化の変容について、主題図や写真などの資料から読み取る。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 地域統合やグローバル化について、主題図や写真などの複数の資料を関連させて多面的に考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 地域統合やグローバル化に関するさまざまな資料を自ら収集・整理し、多面的に考察する。</p>	<p>・指導事項 グローバル化の進展と課題、EUの地域統合 ・教材 授業プリント、NHK高校講座 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識及び技能】 地域統合やグローバル化による成長と課題、生活文化の変容について、主題図や写真などの資料から読み取ることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 地域統合やグローバル化について、主題図や写真などの複数の資料を関連させて多面的に考察している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 地域統合やグローバル化に関するさまざまな資料を自ら収集・整理し、多面的に考察している。</p>	○	○	○	8
<p>単元テスト②</p>			○	○		1

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 理科 科目 科学と人間生活

教科：理科 科目：科学と人間生活 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～5組

教科担当者：

使用教科書：（第一学習社 高等学校 改訂 科学と人間生活）

使用副教材：（実教出版 高校化学基礎カラーノート改訂版）

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】 原理・法則などについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 事物・現象から問題を見いだす力や見通しをもって観察、実験などを行う力を身に付けるようにする。また、得られた結果を分析して解釈、表現できるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 身近な事物・現象に関心や探究心をもち、科学的な視点・考察力を養うとともに、科学技術に対する関心を高める態度を身に付ける

科目 科学と人間生活 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
科学技術の発展の人間生活への貢献、身近な事物・現象を通しての現代の人間生活と科学技術の関連性についての知識を身に付け、これからの科学技術と人間生活のあり方について理解する。	身近な事物・現象の中に問題を見出し、観察、実験、調査などを行って得た結果について、科学的に思考し、判断する。そこから導き出した自らの考えを的確に表現する。	身近な現象や科学技術に対する関心を高める態度を身に付ける。そのために必要となる教材の管理・運用、時間の管理・運用を行えるようにする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 科学技術の発展 【知識及び技能】 物質の種類と性質を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 性質を考慮のように利用していくべきか考え、判断する。 【学びに向かう力、人間性等】 化学的性質、日常生活への利用方法について知識を習得しようとする。	生活の中の様々な物質 金属・プラスチック・ せっけん・食品添加物 【実験】 ガスバーナー	【知識・技能】 道具の利用の歴史から、材質の性質について認識している。 【思考・判断・表現】 性質によって利用法が異なることを理解し、判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 実験・観察の結果を振り返り、インターネット等を利用し考察することができる。	○	○	○	7
	B 物質の科学 【知識及び技能】 物質の分離・精製、熱運動と物質の三態の基本的な概念や原理・法則などを理解する。実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 純物質と混合物の特徴について探究し、科学的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 化学的性質、日常生活への利用方法について知識を習得しようとする。	混合物の分離と精製 物質の三態 【実験】 混合物の分離1	【知識・技能】 概念を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 混合物から物質を分離する方法を判断して表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 実験・観察の結果を振り返り、インターネット等を利用し考察することができる。	○	○	○	5
	C 材料とその利用 【知識及び技能】 物質の分離・精製、単体と化合物の基本的な概念や原理・法則などを理解する。実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 単体と化合物の特徴について科学的に考察し、判断する。 【学びに向かう力、人間性等】 化学的性質、日常生活への利用方法について知識を習得しようとする。	化合物と単体・成分元素の確認 【実験】 混合物の分離2	【知識・技能】 概念を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 物質の持つ性質や関係性から、混合物・単体・化合物の判断ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 実験・観察の結果を振り返り、インターネット等を利用し考察することができる。	○	○	○	4
	D 原子の構造 【知識及び技能】 原子の構造および陽子、中性子、電子の性質を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 物質の構成粒子について、規則性や関係性を見いだす。 【学びに向かう力、人間性等】 物質の構成粒子に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究する。	原子の構造 陽子・中性子・電子 同位体 【実験】 炎色反応	【知識・技能】 概念を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 規則性や関係性を見いだし、判断して表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 実験・観察の結果を振り返り、インターネット等を利用し考察することができる。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
E 地震活動と地表の変化 【知識及び技能】 日本列島と、その付近のプレートの動きを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 おもにプレートの活動によって地震がおこることを考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 地震に関心をもち、地震の発生するしくみを理解しようとする。	地震災害 【実験】 震源分布地図	【知識・技能】 概念を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 規則性や関係性を見いだし、判断して表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 実験・観察の結果を振り返り、インターネット等を利用し考察することができる。	○	○	○	2	
2 学 期	A 材料とその利用 イオン 【知識及び技能】 イオンの基本的な概念やイオンの生成を電子配置と関連付けて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 性質の違いや化学的構造上の特徴から、用途の違いがあることを考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 化学的性質、日常生活への利用方法について知識を習得しようとする。	原子とイオンの電子配置 電気分解の仕組み 【実験】 電気分解を利用しためっき	【知識・技能】 概念を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 規則性や関係性を見いだし、判断して表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 実験・観察の結果を振り返り、インターネット等を利用し考察することができる。	○	○	○	8
	B 材料とその利用 金属 【知識及び技能】 金属結合は自由電子が介在した結合であることを理解する。金属結合でできた物質の性質を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 性質の違いや化学的構造上の特徴か	一般的な性質や代表的な金属 金属の製錬 金属の腐食防止 【実験】 金属の性質	【知識・技能】 概念を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 混合物から物質を分離する方法を判断して表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 実験・観察の結果	○	○	○	7

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教科：保健体育 科目：体育 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～3組

教科担当者：

使用教科書：（現代高等保健体育・ステップアップスポーツ2026）

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】運動技能のポイントを理解し、実践することができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】自分の課題を見つけ、改善方法を考えたり、仲間と協力したりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】仲間を思いやり協力して活動することができるようにする。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
ルールや技能のポイントを理解し、実践に生かすことができる。運動の特性や安全面について理解し、実際に行動することができる。	自分の課題を見つけ、改善方法を考えながら取り組むことができる。学習したことをもとにより良い方法を考えることができる。自分や仲間の動きを振り返ることができる。	仲間と協力しながら意欲的に授業に取り組むことができる。ルールやマナーを守り、責任ある行動ができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 新体力テスト 【知識及び技能】 正しい測定方法や動きのポイントを理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の課題を分析し、記録向上の方法を考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の体力向上に関心をもち、最後まで意欲的に取り組むことができる。	・新体力テストの測定方法、各種目のポイントや伸ばすための方法	【知識・技能】 測定方法を理解している。 【思考・判断・表現】 自分の課題を分析している。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分の体力向上に関心を持っている。	○	○	○	12
	B ゴール型 【知識及び技能】 基本的な技能を理解し、状況に応じて使うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ゲームの状況に応じて適切な判断をし、効果的なプレーを選択することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 仲間と協力しながら、積極的にゲームや練習に参加することができる。	・個人技能 ・ゲーム	【知識・技能】 基本的な技能を習得している。 【思考・判断・表現】 ゲームの状況判断ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 仲間と協力しながら、積極的に行動している。	○	○	○	10
	定期考査						
2 学 期	C 水泳 【知識及び技能】 基本的な泳法の動きを理解し、正しく泳ぐことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の泳ぎを振り返り、課題を見つけて改善する方法を考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に取り組み、最後まで粘り強く泳ぐことができるようにする。	・安全指導 ・クロール、平泳ぎ ・習熟別授業の実施	【知識・技能】 基本的な泳法ができる。 【思考・判断・表現】 自分の泳ぎを振り返り、課題を見つけることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 安全に配慮し、ルールや指示を守ることができる。	○	○	○	12
	定期考査						
	D ベースボール型 【知識及び技能】 打つ、投げる、捕るなどの基本的な技能を理解し、状況に応じて使えるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ゲームの状況に応じてどこに投げるか、どう打つかを判断できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 チームの一員として協力しながら、意欲的にゲームに参加できるようにする。	・個人技能 ・ゲーム	【知識・技能】 基本的な技能を習得している。 【思考・判断・表現】 ゲームの状況判断ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 仲間と協力しながら、積極的に行動している。	○	○	○	13
	D ネット型 【知識及び技能】 サーブ、レシーブなどの基本的な技能を理解し、使えるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 相手の位置や動きを見て、どこに返球するかを判断することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 仲間と協力しながら積極的に	・個人技能 ・ゲーム	【知識・技能】 基本的な技能を習得している。 【思考・判断・表現】 ゲームの状況判断ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 仲間と協力しながら、積極的に行動している。	○	○	○	13

	ゲームに参加することができる。						
3 学 期	E 陸上競技 長距離走 【知識及び技能】 基本的な走り方や呼吸の仕方を理解し、一定のペースで走ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の体力や記録をもとに、適切なペース配分を考えて走ることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 記録向上に向けて最後まで粘り強く走ることができる。		【知識及び技能】 一定のペースで走ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の体力や記録をもとに、適切なペース配分を考え、目標を立てることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 最後まで粘り強く走ることができる。				10
							合計 70

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 保健体育 科目 保健

教科：保健体育 科目：保健 単位数：1 単位

対象学年組：第1学年 1組～5組

教科担当者：

使用教科書：（現代高等保健体育・ステップアップスポーツ2026）

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】健康の保持増進や疾病予防について基本的な知識を理解できるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】自分の生活習慣を振り返り、健康課題を見つけて解決することができるようにする。「

【学びに向かう力、人間性等】自分の健康に関心を持ち、主体的に学習に取り組むことができるようにする。

科目 保健 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生活習慣と健康の関係について理解し、実生活に生かすことができるようにする。	健康に関する情報をもとに、適切な工藤を判断できるようにする。	自分の健康に関心を持ち、主体的に学習に取り組むことができるようにする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	A 健康の考え方と成り立ち 【知識及び技能】 我が国の健康水準や現状について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 健康統計や資料をもとに、日本の健康課題について理解することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 我が国の健康課題に関心を持ち、主体的に学習に取り組むことができる。	・知識の定着 ・話し合い活動 ・調べ学習	【知識・技能】 生活習慣病や感染症などの健康課題とその要因について理解できるようにする。 【思考・判断・表現】 健康課題の原因を分析し、改善のために必要な取り組みを判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 我が国の健康課題に関心を持ち、主体的に学習に取り組むことができる。	○	○	○	7
	B がん 【知識及び技能】 がんの種類や発生の仕組みについて理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 生活習慣とがんの関係を踏まえ、自分の生活を振り返り、改善点を判断できる。 【学びに向かう力、人間性等】 がん予防や健康維持について関心を持ち、主体的に学習に取り組むことができる。	・知識の定着 ・話し合い活動 ・調べ学習	【知識・技能】 がんなどの健康課題とその要因について理解できるようにする。 【思考・判断・表現】 がんになる原因を分析し、改善のために必要な取り組みを判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 我が国の健康課題に関心を持ち、主体的に学習に取り組むことができる。	○	○	○	7
	定期考査			○	○	○	1
2 学 期	C 喫煙 【知識及び技能】 喫煙が健康に及ぼす影響について理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 喫煙による健康被害や社会的影響を踏まえ、適切な行動を判断できる。 【学びに向かう力、人間性等】 喫煙の健康への影響に興味を持ち、主体的に学習に取り組むことができる。	・知識の定着 ・話し合い活動 ・調べ学習	【知識・技能】 喫煙による健康課題とその要因について理解できるようにする。 【思考・判断・表現】 喫煙による依存や健康被害について分析し、改善のために必要な取り組みを判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 我が国の健康課題に関心を持ち、主体的に学習に取り組むことができる。	○	○	○	6
	D 飲酒 【知識及び技能】 飲酒が健康に及ぼす影響について理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 飲酒による健康被害や社会的影響を踏まえ、適切な行動を判断できる。 【学びに向かう力、人間性等】 飲酒の健康への影響に興味を持ち、主体的に学習に取り組むことができる。	・知識の定着 ・話し合い活動 ・調べ学習	【知識・技能】 飲酒による健康課題とその要因について理解できるようにする。 【思考・判断・表現】 飲酒による依存や健康被害について分析し、改善のために必要な取り組みを判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 我が国の健康課題に関心を持ち、主体的に学習に取り組むことができる。	○	○	○	7
	定期考査			○	○	○	1
	E 精神疾患 【知識及び技能】 精神疾患の種類や特徴について理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 精神疾患に関する正しい知識を	・知識の定着 ・話し合い活動 ・調べ学習	【知識及び技能】 精神疾患の主な要因について理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ストレスと心の健康の関係を踏まえ、自分や身近な生活を振り返ることができる。 【学びに向かう力、人間性等】				

3 学 期	もとに、適切な対応や支援について考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 心の健康や精神疾患について関心を持ち、主体的に学習に取り組むことができる。	心の健康や精神疾患について関心を持ち、主体的に学習に取り組むことができる。	○	○	○	5
	定期考査		○	○	○	1
						合計
						35

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 工業 科目 工業技術基礎

教科：工業 科目：工業技術基礎 単位数：3 単位

対象学年組：第1学年 1組～5組

教科担当者：

使用教科書：（工業技術基礎）

教科 工業 の目標：

- 【知識及び技能】工業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】工業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構造を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 工業技術基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
工業技術について工業のもつ社会的な意義や役割と人と技術との関わりを踏まえて理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	工業技術に関する課題を発見し、工業に携わる者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を養う。	工業技術に関する広い視野をもつことを目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期 ・ 2 学 期 ・ 3 学 期	機械分野班：機械系実習 【知識及び技能】 金属加工及び鋳造に関する基礎的な知識を理解するとともに、安全に配慮しながら基本的な作業技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 作業工程や成果について考察し、適切に判断するとともに、その過程や結果を分かりやすく表現する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 安全意識と責任感を持ち、主体的かつ意欲的に実習に取り組もうとする態度を育成する。	1. 旋盤加工に関する基礎的な知識と技術の習得 2. 溶接に関する基礎的な知識と技術の習得 3. 内燃機関の分解・組立に関する基礎的な知識と技術の習得 4. 自動車の点検作業に関する基礎的な知識と技術の習得 5. 人と技術と環境・生産の仕組み 教材 工業技術基礎・ワークシート 一人1台端末の活用 等	○ ○ ○	○	○	○	140
	電気分野班：電気系 【知識及び技能】 電子工作及び電気回路に関する基礎的な知識を理解するとともに、測定や配線などの基本的な技能を、安全に配慮しながら身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 作業工程や作業結果を基に考察し、適切に判断するとともに、その過程や結果を分かりやすく表現する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 安全意識と責任感を持ち、主体的かつ意欲的に実習に取り組もうとする態度を育成する。	1. 電気工事に関する総合的な知識と技術の習得 2. 電線の被覆の剥ぎ取り方や基本的な配線接続方法の習得 3. 電気回路の要素に関する基礎的な知識と技術の習得 4. 直流回路に関する基礎的な知識と技術の習得 5. 交流回路に関する基礎的な知識と技術の習得 6. 人と技術と環境・生産の仕組み 教材 工業技術基礎・ワークシート 一人1台端末の活用 等	①知識・技能 内容に関する基礎的な知識の理解状況および、工具・機器を安全に使用した基本的な技能の習得状況を、レポート、作品、提出課題及び行動観察により評価する。 ②思考・判断・表現 作業の工程や結果について考察し、課題に対する判断や成果を適切に表現できているかを、レポート、作品、提出課題及び行動観察により評価する。 ③主体的に学習に取り組む態度 安全意識と責任感を持ち、主体的に実習へ取り組もうとする態度を、レポート、出欠・遅刻の状況及び行動観察により評価する。 ※出欠・遅刻の状況については、実習への取組状況を把握するための参考資料として用いる。	○	○	○	
	デザイン分野班：デザイン・インテリア系 【知識及び技能】 デザイン及び工芸に関する基礎的な知識を理解するとともに、材料や用具の特性を踏まえ、基本的な制作技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 意図や目的に基づいて構想を練り、制作過程や成果について考察し、それらを適切に表現する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 制作への意欲と責任感を持ち、主体的かつ意欲的に実習に取り組もうとする態度を育成する。	1. イラストレーターの使用法の習得 2. イラストレーター・ペンツールでのトレース作業の習得 3. オリジナルロゴマーク、ステーションナリーデザインの作成 4. ビジュアルデザインに関する基礎演習 5. 木材加工法の習得、立体パズルの制作 6. 人と技術と環境・生産の仕組み 教材 工業技術基礎・ワークシート 一人1台端末の活用 等	○ ○ ○	○	○	○	
1クラスを3班に分け、各班が機械分野、電気分野、デザイン分野の実習をローテーションして履修する。							
							合計
							140

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 工業 科目 工業情報数理

教科： 工業 科目： 工業情報数理 単位数： 3 単位
 対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 5 組
 教科担当者：
 使用教科書： （ 7 実教 工業007-901 工業情報数理 新訂版 ）

教科 工業 の目標：
 【知識及び技能】工業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
 【思考力、判断力、表現力等】工業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
 【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構造を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 工業情報数理 の目標：	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
工業技術について工業のもつ社会的な意義や役割と人と技術との関わりを踏まえて理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	工業技術に関する課題を発見し、工業に携わる者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を養う。	工業技術に関する広い視野をもつことを目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。	

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1章 産業社会と情報技術 1. 情報と情報社会 【知識及び技能】 情報の特性や情報社会とコンピュータの関係、情報社会のリスク、新たな社会への変遷について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 情報技術の進展にともない産業社会に及ぼす影響について、光と影の部分に関して思考・判断でき、自分の考えを表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 現代社会では、情報技術がどのような特徴をもち、どのように利用されているかなどに関心をもち、意欲的に学習に取り組む、学習態度は真剣である。	・指導事項 1. 情報と情報社会 ・教材 教科書・プリント 一人1台端末の活用	【知識・技能】 情報の特性や情報社会とコンピュータの関係、情報社会のリスク、新たな社会への変遷について理解している。 【思考・判断・表現】 情報技術の進展にともない産業社会に及ぼす影響について、光と影の部分に関して思考・判断でき、自分の考えを表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 意欲的に学習に取り組み、学習態度は真剣である。	○	○	○	10
	2. 情報システムとデータの活用 【知識及び技能】 産業界のどの分野でコンピュータがどのように活用されているか調査を行い、まとめることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 情報化社会で守るべき権利とモラルについて具体的に考え、たがいに意見を述べたり発表したりできる。 【学びに向かう力、人間性等】 情報化社会で守るべき権利とモラルについて関心をもち、意欲的に学習に取り組む、学習態度は真剣である。	・指導事項 2. 情報システムとデータの活用 ・教材 教科書・プリント 一人1台端末の活用	【知識・技能】 産業界のどの分野でコンピュータがどのように活用されているか調査を行い、まとめることができる。 【思考・判断・表現】 情報化社会で守るべき権利とモラルについて具体的に考え、たがいに意見を述べたり発表したりできている。 【主体的に学習に取り組む態度】 情報化社会で守るべき権利とモラルについて関心をもち、意欲的に学習に取り組み、学習態度は真剣である。	○	○	○	12
	3. 情報社会の権利とモラル 【知識及び技能】 情報化社会で守るべき権利とモラルについて、情報技術を利用して法的な根拠について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 コンピュータの不正利用防止のために、それらの実態を知り、技術的な対処方法が必要であることが考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 知的財産権・プライバシーの保護・コンピュータの不正利用対策・コンピュータウイルス、および、それらの対策などに関心をもち、意欲的に学習に取り組む、学習態度は真剣である。	・指導事項 3. 情報社会の権利とモラル ・教材 教科書・プリント 一人1台端末の活用	【知識・技能】 情報化社会で守るべき権利とモラルについて、情報技術を利用して法的な根拠について理解している。 【思考・判断・表現】 コンピュータの不正利用防止のために、それらの実態を知り、技術的な対処方法が必要であることが考察できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 意欲的に学習に取り組み、学習態度は真剣である。	○	○	○	16
	4. セキュリティ管理 【知識及び技能】 利用者認証法の種類とそれぞれの方法の長所や短所を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 コンピュータウイルス対策や情報の不正利用防止のための基本的な技術を理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】 コンピュータの障害を最小限に止めるための対策法について理解させる。	・指導事項 4. セキュリティ管理 ・教材 教科書・プリント 一人1台端末の活用	【知識・技能】 利用者認証法の種類とそれぞれの方法の長所や短所を理解できている。 【思考・判断・表現】 コンピュータウイルス対策や情報の不正利用防止のための基本的な技術を理解できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 コンピュータの障害を最小限に止めるための対策法について理解できている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1

2 学 期	<p>第10章 数理処理</p> <p>1. 単位と数理処理</p> <p>【知識及び技能】 量の名称・量記号・単位(SI)について、理解させる。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 量の名称・量記号・単位(SI)について、表現することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 量の名称・量記号・単位(SI)について、周囲と話し合うなどし、積極的に取り組むことができる。</p>	<p>・指導事項</p> <p>1. 単位と数理処理</p> <p>・教材 教科書・プリント 一人1台端末の活用</p>	<p>【知識・技能】 量の名称・量記号・単位(SI)について、理解できている。</p> <p>【思考・判断・表現】 量の名称・量記号・単位(SI)について、表現することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 量の名称・量記号・単位(SI)について、周囲と話し合うなどし、積極的に取り組むことができる。</p>	○	○	○	20
	<p>第6章 デジタル化とハードウェア</p> <p>1. 数値・文字の表し方</p> <p>【知識及び技能】 コンピュータで用いるデータの表し方について理解させる。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 コンピュータで用いるデータの表し方について表現できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 コンピュータで用いるデータの表し方について、周囲と話し合い積極的に取り組むことができる。</p>	<p>・指導事項</p> <p>1. 数値・文字の表し方</p> <p>・教材 教科書・プリント 一人1台端末の活用</p>	<p>【知識・技能】 コンピュータで用いるデータの表し方について理解できている。</p> <p>【思考・判断・表現】 コンピュータで用いるデータの表し方について理解できている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 コンピュータで用いるデータの表し方について、周囲と話し合い積極的に取り組むことができる。</p>	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
3 学 期	<p>2. 論理回路の基礎</p> <p>【知識及び技能】 2値信号で演算や制御を行う論理回路の基本について理解させる。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 2値信号で演算や制御を行う論理回路の基本について表現できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 2値信号で演算や制御を行う論理回路の基本について周囲と話し合い積極的に取り組むことができる。</p>	<p>・指導事項</p> <p>2. 論理回路の基礎</p> <p>・教材 教科書・プリント 一人1台端末の活用</p>	<p>【知識・技能】 2値信号で演算や制御を行う論理回路の基本について理解できている。</p> <p>【思考・判断・表現】 2値信号で演算や制御を行う論理回路の基本について表現できている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 2値信号で演算や制御を行う論理回路の基本について周囲と話し合い積極的に取り組むことができる。</p>	○	○	○	10
	<p>第3章 プログラミングの基礎</p> <p>1. プログラム言語</p> <p>【知識及び技能】 プログラム言語の種類について理解させる。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 プログラム言語の種類について表現できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 プログラム言語の種類について周囲と話し合い積極的に取り組むことができる。</p>	<p>・指導事項</p> <p>1. プログラム言語</p> <p>・教材 教科書・プリント 一人1台端末の活用</p>	<p>【知識・技能】 プログラム言語の種類について理解できている。</p> <p>【思考・判断・表現】 プログラム言語の種類について表現できている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 プログラム言語の種類について周囲と話し合い積極的に取り組むことができる。</p>	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
						合計	105

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 キャリアデザイン 科目 キャリアガイダンスⅠ

教科： キャリアデザイン 科目： キャリアガイダンスⅠ 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 5 組

教科担当者：

使用教科書：（ ）

教科 キャリアデザイン の目標：

【知識及び技能】生徒の進路実現を目指し、適性や職種に興味・関心を抱かせ、自己理解と進路意識を高めさせる。

【思考力、判断力、表現力等】コミュニケーション力、自己表現力、集中力、忍耐力や、挨拶や言葉遣い、話を聞く態度などの礼儀作法といった、将来、職業生活をしていく上で必要とされる能力の育成をはかる。

【学びに向かう力、人間性等】出席、課題の取り組み・提出状況が十分である。

科目 キャリアガイダンスⅠ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生徒の進路実現を目指し、適性や職種に興味・関心を抱かせ、自己理解と進路意識を高めさせる。	コミュニケーション力、自己表現力、集中力、忍耐力や、挨拶や言葉遣い、話を聞く態度などの礼儀作法といった、将来、職業生活をしていく上で必要とされる能力の育成をはかる。	出席、課題の取り組み・提出状況が十分である。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	A 自己理解 【知識及び技能】 ・計画づくりや振り返り、ワークショップを通じて、自己理解を深めることができる 【思考力、判断力、表現力等】 ・計画づくりや振り返り、ワークショップを通じて、コミュニケーション力、自己実現力、集中力などの能力を高めることができる 【学びに向かう力、人間性等】 ・計画づくりや振り返り、ワークショップに主体的に取り組むことができる	○学期中の計画や振り返り、ワークショップ等を通じて自己理解を深める ・CGオリエンテーション ・校外学習の計画 ・学期の計画、振り返り ・ワークショップ	【知識・技能】 活動を通じて、自己理解を深めることができたか 【思考・判断・表現】 活動を通じて、コミュニケーション力、自己実現力、集中力などの能力を高めることができたか 【主体的に学習に取り組む態度】 出席状況、課題への取り組み・提出状況が十分である	○	○	○	10
	B 職業理解 【知識及び技能】 ・ワークショップや分野/系列の説明会を通じて、職業や進路活動に対して興味関心を高めることができる ・外部講師などに対して礼儀作法を身につけることができる 【思考力、判断力、表現力等】 ・ワークショップや分野/系列の説明会を通じて、コミュニケーション力、自己実現力、集中力などの能力を高めることができる 【学びに向かう力、人間性等】 ・ワークショップや分野/系列の説明会に主体的に取り組むことができる	○職業・進路活動を通じて進路意識を高める ・ワークショップ（事前/事後指導含） ・分野/系列の説明会	【知識・技能】 ・活動を通じて、職業や進路活動に対して興味関心を高めることができたか ・外部講師などに対して礼儀作法を身につけることができたか 【思考・判断・表現】 ・活動を通じて、コミュニケーション力、自己実現力、集中力などの能力を高めることができたか 【主体的に学習に取り組む態度】 出席状況、課題への取り組み・提出状況が十分である	○	○	○	10
2 学期	A 自己理解 【知識及び技能】 ・計画づくりや振り返り、ワークショップを通じて、自己理解を深めることができる 【思考力、判断力、表現力等】 ・計画づくりや振り返り、ワークショップを通じて、コミュニケーション力、自己実現力、集中力などの能力を高めることができる 【学びに向かう力、人間性等】 ・計画づくりや振り返り、ワークショップに主体的に取り組むことができる	○学期中の計画や振り返り、ワークショップ等を通じて自己理解を深める ・学期の計画、振り返り ・ワークショップ	【知識・技能】 活動を通じて、自己理解を深めることができたか 【思考・判断・表現】 活動を通じて、コミュニケーション力、自己実現力、集中力などの能力を高めることができたか 【主体的に学習に取り組む態度】 出席状況、課題への取り組み・提出状況が十分である	○	○	○	15
	B 職業理解 【知識及び技能】 ・ワークショップや分野/系列の説明会、先端企業訪問を通じて、職業や進路活動に対して興味関心を高めることができる ・外部講師などに対して礼儀作法を身につけることができる 【思考力、判断力、表現力等】 ・ワークショップや分野/系列の説明会、先端企業訪問を通じて、コミュニケーション力、自己実現力、集中力などの能力を高めることができる 【学びに向かう力、人間性等】 ・ワークショップや分野/系列の説明会、先端企業訪問に主体的に取り組むことができる	○職業・進路活動を通じて進路意識を高める ・ワークショップ（事前/事後指導含） ・分野/系列の説明会 ・先端企業訪問	【知識・技能】 ・活動を通じて、職業や進路活動に対して興味関心を高めることができたか ・外部講師などに対して礼儀作法を身につけることができたか 【思考・判断・表現】 ・活動を通じて、コミュニケーション力、自己実現力、集中力などの能力を高めることができたか 【主体的に学習に取り組む態度】 出席状況、課題への取り組み・提出状況が十分である	○	○	○	15
	A 自己理解 【知識及び技能】 ・計画づくりや振り返り、ワークショップを通じて、自己理解を深める	○学期中の計画や振り返り、ワークショップ等を通じて自己理解を深める ・学期の計画、振り返り	【知識・技能】 活動を通じて、自己理解を深めることができたか 【思考・判断・表現】				

3 学期	<p>めることができる</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画づくりや振り返り、ワークショップを通じて、コミュニケーション力、自己実現力、集中力などの能力を高めることができる <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画づくりや振り返り、ワークショップに主体的に取り組むことができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップ 	<p>活動を通じて、コミュニケーション力、自己実現力、集中力などの能力を高めることができたか</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>出席状況、課題への取り組み・提出状況が十分である</p>	○	○	○	10
	<p>B 職業理解</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップを通じて、職業や進路活動に対して興味関心を高めることができる ・外部講師などに対して礼儀作法を身につけることができる <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップを通じて、コミュニケーション力、自己実現力、集中力などの能力を高めることができる <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップに主体的に取り組むことができる 	<p>○職業・進路活動を通じて進路意識を高める</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップ（事前/事後指導含） 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動を通じて、職業や進路活動に対して興味関心を高めることができたか ・外部講師などに対して礼儀作法を身につけることができたか <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動を通じて、コミュニケーション力、自己実現力、集中力などの能力を高めることができたか <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>出席状況、課題への取り組み・提出状況が十分である</p>	○	○	○	10
							合計